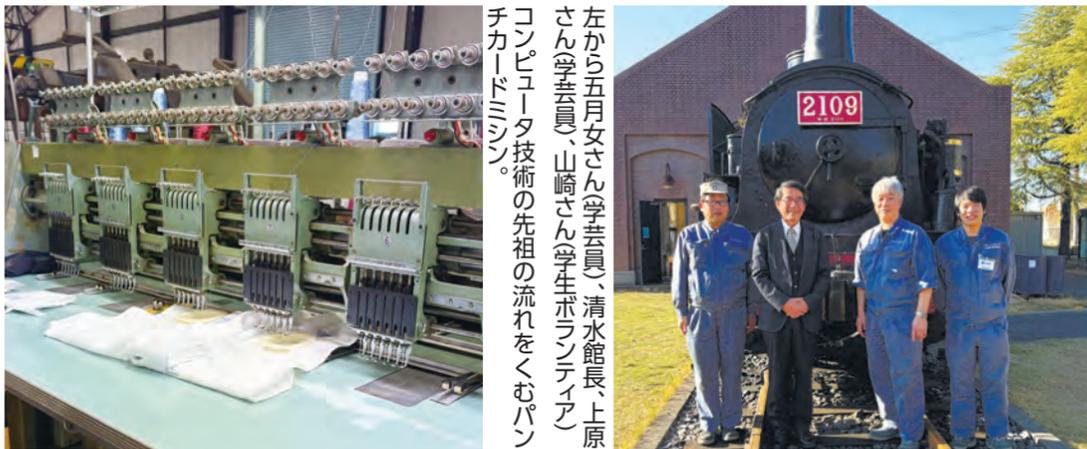


学校の体育館約4個分の広さに、明治以降産業の発展に寄与した、歴史的価値のある工作機械を展示。



左から五月女さん(学芸員)、清水館長、上原さん(学芸員)、山崎さん(学生ボランティア)、コンピュータ技術の先祖の流れをくむパンチカードマシン。



1つのモーターで全ての機械が稼働

大正～昭和後期まで稼働していた町工場。モーターを動かすと天井にあるベルトを介して動力が伝わり旋盤が動く仕組み。大きな音や油の匂いなど、昔の工場の様子がよく分かります。

箱根登山鉄道は、昭和レトロなインスタ映えスポット。昔の中吊り広告もそのままです。



100年間、箱根の急勾配を登ってきた箱根登山鉄道の車両。学生ボランティアが配線や配管を直し、今後はモーターを動かして車輪を回すことを目指しています。

昭和42年の開学から、約60年を宮代町と共に歩んできた日本工業大学。建物の前を通り過ぎることはあっても、中に入ったことがない方も多いのではないのでしょうか。今回は、東京ドーム約6個分の広いキャンパスの中でも、町民のみなさんが気軽に入ることができるおすすめスポットを紹介します。

## 工業技術博物館

大学の正門をくぐって右手にあるカマボコ型の存在感のある建物は、昭和62年にオープンした工業技術博物館。400点以上の古い機械が展示されています。その中でも、工作機械の7割以上は今も「動かせる状態」で展示されている、全国的にも珍しい博物館です。「全国各地から来館されます。海外からの方もいます」と学芸員の上原さんと五月女さんは話します。

機械のメンテナンスは、学芸員の2人と技術職員、学生ボランティアたち。広い館内は、歴史的に貴重な展示品が、その当時の姿のままで展示されています。

屋外で目を引くのは、大正8年に製造された箱根登山鉄道の車両「モハ1形-103号」と、明治24年に製造されたイギリス製の蒸気機関車「2109号」です。「2109号」は今でも世界で唯一動く、イギリス製のB6形蒸気機関車。毎年厳格なボイラー検査をクリアし、力強く煙を上げるその姿は、訪れる人を圧倒しています。大学のイベントにあわせて運転しているので、ぜひ一度、見学してみませんか。



◀ 工業技術博物館の利用方法は、ホームページをご覧ください。

### 蒸気機関車2109号有火運転

実際にボイラーに火を入れて、蒸気を発生させて線路を走らせます!! 運転席にも乗車できます。

日時 3月22日(日)10時30分～15時

定員 約140名(先着順)

申込 当日9時30分～13時に博物館本館でチケット配布

問合せ 工業技術博物館33・7545

## LCセンター

外からもひときわ目立つ、ガラス張りの台形の建物。平成19年に開館した、20万冊以上の図書を所蔵する図書館「LCセンター」です。町民も登録料1,000円で登録をすれば図書の貸出サービスを利用できる地域に開かれた場所です。

吹き抜けやテラス、ギャラリーがある館内はまるで美術館のよう。建築学部の小川教授が設計し、構想段階から学生も参加しました。ガラス張りの外観とは対照的に、館内は木と光の温もりにあふれ、手作りの本棚がたくさん並んでいます。環境への配慮もたくさん凝らされたこの「建築物」は、それ自体が学生たちにとって生きた教材です。

学生たちが企画したイベントも実施しています。興味のある方はぜひ、参加してみてください。



1階ホールの吹き抜けは明るく開放感があり読書に最適。



1階スロープのギャラリーには学生の成果物などを掲示。



ガラス壁は2層構造。ミスト用の配管も巡らされ、室温の上昇を抑えています。



ライブラリーサポーターとしてイベントの企画や運営を手伝っている学生たち。学科を超えてLCセンターを支えます。



館内の学習スペースには手作りの本棚があり、デザイン性のある空間になっています。

**ほんのきもち交換会**

日時 3月22日(日)10時~12時  
場所 LCセンター  
内容 お気に入りの本を持ち寄る本の交換会・読書会です。お手持ちのお気に入りの本、自分の人生を変えた本、お勧めしたい本を、一冊お持ちください。本を交換して持ち帰り、後日、本と一緒に感想カードがあなたの手元に帰ってきます。

申込協力 宮代町立図書館

申込QRコード



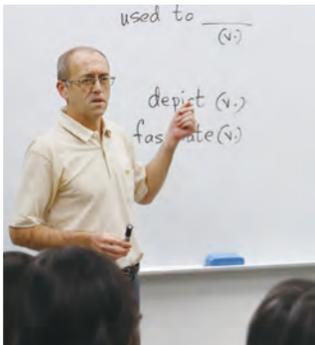
◀ LCセンターの利用方法は大学ホームページをご覧ください。

## オープンカレッジ

「NITオープンカレッジ」は市民向けの講座で、町内外から多くの方が受講します。

英会話と歴史の両講座を受講している半田さん、小林さん、塚田さんは、「大人になってからの学び直しはとても楽しい」と口をそろえます。英会話のクラスでは、塚田さんはじめ、皆さんがジェスチャーを交えて堂々と英語で発表。「英語が身近になった」と手応えを感じています。

学生食堂でのランチも楽しみのひとつ。白岡市からの参加者は「食事をしながら仲間と感想を語り合う時間は、とても充実している」と話します。学びを通じた新しい交流が、地域の皆さんの生活を豊かにしています。



講義中は全てが英語です。カホール先生の授業は、会話と文法の両方がフランスよく身に付くと人気です。



左から半田さん、小林さん、塚田さん



「ベルサイユのばら」がきっかけでフランス王室の歴史に詳しくなった近世歴史考教室の友添先生(中央)。初めての受講者でも分かりやすい講義にすぐに引き込まれます。

◀ オープンカレッジについての詳細はホームページをご覧ください。

4月からは新しいクラスがスタートします。希望する方は、はがき又はメールで「歴史考」もしくは「英会話/初級1」と記入し、郵便番号・住所・氏名(ふりがな付)・年齢・電話番号も記入して生涯学習センターまでお申し込みください。  
〒345-8501宮代町学園台4-1 shougai@nit.ac.jp 期限:3月27日(金)

**英会話教室(初級1)**

ゆっくり楽しく、初めての英会話を始めてみませんか?

日時 4月20日、27日、5月11日、18日、25日、6月8日、15日、22日、29日、7月6日すべて月曜(全10回)10時50分~12時20分

講師 カホール・パトリック・ケア氏  
定員 15名(先着順)  
費用 14,500円(全10回分)

**近世歴史考教室**

日時 4月21日、5月12日、26日、6月2日、16日、30日、7月14日、28日(全8回)すべて火曜、13時30分~15時

内容 理念と葛藤のフランス革命。ロベスピエール、サン=ジユストを中心に、革命の展開と理念と人間性の交錯を考える全8回。

講師 友添成実氏  
定員 50名  
費用 8,000円(全8回分)

歴史の流れを感じる博物館に、ゆったり本を読む図書館、そして新しい発見がある市民講座。ここには、大人になった今だからこそ楽しめる「ワクワクする学び」がたくさん詰まっています。ぜひ、気軽に遊びに行ってみてください。